

有限会社 クラール 殿

発行日: 2011年 12月 21日

不具合整理No. 43MD-12-004

協力工場 不良品連絡書

再発防止のため対策を記入の上、指定回答日までに原本を提出して下さい。

指定回答日: 2011年 12月 27日

承認

調査

担当



図番 101CFP-450-13F

品名 EN-33 ハウジング

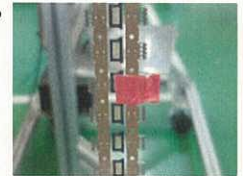
ロットNo 111213-2-B-01

発生日 2011年 12月 20日

不良数量 1リール

不良率

不良内容

ハウジングキャリア部に赤いテープが貼り付けてある。
以前にもEN-43で発生しています。

処置 返却

1. 確認内容

添付資料を御確認願います。

返却品の処置 (数量明記)

2. 発生原因

4. 流出原因

3. 発生防止対策

5. 流出防止対策

実施日: 年 月 日

実施日: 年 月 日

在庫品仕掛品の確認

在庫品 0 仕掛品 0

回答日: 2011年 12月 22日

承認

調査

作成



標準類改訂 有・(無) ()

承認

調査

確認者



(株) 鈴木 確認

対策後、11123-2-B-01-06~111227-2-B-01-06の計5ロットにおいて
同不具合無しを、有効性有りとは判断致します。

(株) 鈴木

Rev: A

MQM-10010-4

(株) 鈴木 記入

協力工場 是正処置 記入

有限会社 クラール			<名称> 赤テープの使用について		<制定日> 2011年12月22日	版数	1	
作業手順書			<工程> 検査		<制定部署> クラール	頁数	1/1	
承認	調査	作成	改訂記録	改定	内 容		承認	作成
菅原	菅原	菅原		3				
				2				
				1				

・検査製品への赤テープを始め、テープ、付箋紙、等の使用は原則禁止とする。

・やむを得ず、赤テープを使用する際、
(突発的な不良がリール内に数カ所発生し、発生箇所数を把握したい時等)は、
下記手順に則る事。

- ① 検査員が突発的な不良がリール内に1カ所以上ある事を確認の上、工場長(菅原)へ連絡。
- ② 工場長は赤テープを常に管理し、上記連絡により検査員へ1シート(10切の赤テープ付着)単位で配布する。
- ③ 検査終了後、検査員より赤テープを回収し、その際シート数、1シートに10切の赤テープがある事を確認し、「赤テープ管理書」にて出入の整合を確認し、工場長が押印の上管理。又、押印確認済み製品のみ出荷する。